

## RCJJ2020 リチウムイオン充電機(バッテリー)チェックシート(G) 2020-03-17R12

チーム番号:【 】 チーム名:【 】

同意書提出確認

警告 ①充電は充電ラックで「充電中」を掲示し実施する

②バッテリーを接続した状態で、ハードウェアに手を加えない(修理等)

③持込バッテリー・充電器を変更・追加する場合は、再チェック(検査)を受ける

チームリーダーの署名 【 】 2020年4月【 】日

バッテリーチェックは、4月24日又は25日の初回1回のみ 【 】内は、選手が検査前(事前)に記入してください

No	検査内容	検査員チェック	
1	バッテリーの種類と定格表示・Wh・状態・書類・保護回路・充電器		
1-1	タイプ1 種類【 】 電圧※5【 】V x 容量【 】Ah = 【 】Wh※6 【 】個※7 バッテリー本体に、種類・電圧・容量を示す表示がある 自作・改造品※1でなく、破損・変形・劣化(リード線を含む)等がない <b>取り扱い上の注意点、充電方法が記載されたドキュメントが存在する</b> バッテリー内蔵の保護回路(機能)【 】がある(任意)※2 充電器は指定品又は推奨品※4を使用する(書類が必要)【 】台※7 ※8 充電器は規格品を使用し1C以下※4バランス充電する(書類が必要)【 】台※7 ※8		
1-2	タイプ2 種類【 】 電圧※5【 】V x 容量【 】Ah = 【 】Wh※6 【 】個※7 バッテリー本体に、種類・電圧・容量を示す表示がある 自作・改造品※1でなく、破損・変形・劣化(リード線を含む)等がない <b>取り扱い上の注意点、充電方法が記載されたドキュメントが存在する</b> バッテリー内蔵の保護回路(機能)【 】がある(任意)※2 充電器は指定品又は推奨品※4を使用する(書類が必要)【 】台※7 ※8 充電器は規格品を使用し1C以下※4バランス充電する(書類が必要)【 】台※7 ※8		
1-3	タイプ3 種類【 】 電圧※5【 】V x 容量【 】Ah = 【 】Wh※6 【 】個※7 バッテリー本体に、種類・電圧・容量を示す表示がある 自作・改造品※1でなく、破損・変形・劣化(リード線を含む)等がない <b>取り扱い上の注意点、充電方法が記載されたドキュメントが存在する</b> バッテリー内蔵の保護回路(機能)【 】がある(任意)※2 充電器は指定品又は推奨品※4を使用する(書類が必要)【 】台※7 ※8 充電器は規格品を使用し1C以下※4バランス充電する(書類が必要)【 】台※7 ※8		
2	ロボット搭載の保護機能(回路)	ロボット	ロボット
2-1	過流防止機能(不可逆性)※3又は、DC20A以下ヒューズが適切※9に設置されている (↓に保護機能(回路)の説明、又はヒューズ容量を記入)※2 【 】	1	2
2-2	過放電防止機能の設置又は手順の説明 (↓に保護機能(回路)の説明、又は手順を記入)※2 【 】	ロボット	ロボット
	検査員コメント	1	2
		合格サイン	

※1 着色及び接続コネクター変更(適切な場合のみ)は可

※2 別紙の場合は【別紙】と記載

※3 ポリスイッチ等の保護機能が自動復帰する物は不可

※4 充電電流は1C(例 容量0.85Ah ⇒ 0.85A)以下で、セル毎の電圧監視(保護)機能があること  
 また、指定品又は推奨品であっても、検査員が不適切と判断した場合はその指示に従う

※5 14500型等の乾電池型を直列使用する場合は、【3.7Vx 3本】と記載(並列接続は別途相談)

乾電池型は各個に保護回路があるもののみ直列接続を許可(並列接続は別途相談)

乾電池型以外の直列・並列接続は禁止

※6 45Wh以下(ただし各リーグで別途規定を定める場合はそれに従う)

駆動用・制御用等別々に、複数個のバッテリーを搭載する場合、合計Whがこれ以下であること

※7 会場で持込する総数(全数検査済みラベルを貼ります)

※8 1台の充電器で異なるタイプ(種類・電圧・容量)のバッテリーを充電することは原則禁止(別途相談)

※9 ヒューズ本体に定格表示があり、電線サイズ・コネクター・使用電圧などを精査すること